

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 久世

コード番号 2708 URL <http://www.kuze.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 健吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営サポート本部長 (氏名) 加藤 広忠

TEL 03-3987-0018

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	42,289	10.1	400	98.0	498	69.7	274	71.8
24年3月期第3四半期	38,422	6.5	202	△14.0	294	△8.7	159	55.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 279百万円 (72.3%) 24年3月期第3四半期 162百万円 (109.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	70.84	—
24年3月期第3四半期	41.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,598	4,407	21.4
24年3月期	17,435	4,173	23.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,407百万円 24年3月期 4,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	5.8	450	18.4	500	22.4	250	43.8	64.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) KISCO FOODS INTERNATIONAL LIMITED、除外 1社 (社名)
TED

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	3,882,500 株	24年3月期	3,882,500 株
25年3月期3Q	3,478 株	24年3月期	3,478 株
25年3月期3Q	3,879,022 株	24年3月期3Q	3,879,022 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興特需等により景気は緩やかな回復基調も見られましたが、欧州の債務問題や世界経済の減速等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましても、全般的に消費者の節約志向、低価格志向が定着し、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは「第二次C&G経営計画」（平成24年4月～平成27年3月）の初年度にあたり、「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」、「三大都市圏No.1」の実現を目指し、諸施策の実行・推進と営業利益の向上を活動方針に取り組んでまいりました。また、海外事業の基盤確立のために、平成24年5月中国四川省成都市に久華世（成都）商貿有限公司を設立し、海外での業務用食材卸売事業の取り組みを始めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は422億89百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益4億円（前年同四半期比98.0%増）、経常利益4億98百万円（前年同四半期比69.7%増）、四半期純利益2億74百万円（前年同四半期比71.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、引き続き首都圏エリアでの積極的な営業強化を進めました。また中京圏および関西圏エリアにおきましても新規顧客の獲得や既存顧客の深耕等積極的な営業強化に取り組みました。中京圏エリアでは、酒類販売業の株式会社サカツ コーポレーションと業界を越えた業務提携を結び、販路拡大に取り組んでおります。さらに生鮮野菜の販売では、業務改善と物流効率化の徹底を図り収益の向上に努めてまいりました。

このような結果、売上高は391億92百万円と前年同四半期と比べ32億62百万円（9.1%）の増収、セグメント利益（営業利益）は7億56百万円と前年同四半期と比べ2億19百万円（40.9%）の増益となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、引き続き自社ブランド商品の販売強化に努め、また継続的な品質向上とコストダウンにも取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は31億12百万円と前年同四半期と比べ6億6百万円（24.2%）の増収、セグメント利益（営業利益）は2億59百万円と前年同四半期と比べ49百万円（23.7%）の増益となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は1億15百万円と前年同四半期と比べ0百万円（0.2%）の増収、セグメント利益（営業利益）は90百万円と前年同四半期と比べ0百万円（△0.7%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ31億62百万円増加し、205億98百万円となりました。これは主として現金及び預金が13億92百万円、受取手形及び売掛金が11億29百万円、商品及び製品が7億73百万円増加し、投資その他資産のその他が1億82百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ29億29百万円増加し、161億91百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が27億82百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億33百万円増加し、44億7百万円となりました。これは主として利益剰余金が2億28百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.9%から21.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での通期連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において、持分法適用非連結子会社であったKISCO FOODS INTERNATIONAL LIMITED については、経営戦略上の重要性が増したことから、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に加えております。

変更後の連結子会社数は、3社です。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,042,477	5,435,231
受取手形及び売掛金	6,946,174	8,075,724
商品及び製品	1,697,990	2,471,799
原材料及び貯蔵品	142,357	191,138
その他	761,866	612,539
貸倒引当金	△45,770	△63,031
流動資産合計	13,545,095	16,723,401
固定資産		
有形固定資産	1,781,033	1,970,212
無形固定資産	112,155	88,854
投資その他の資産		
その他	2,072,635	1,889,989
貸倒引当金	△75,593	△74,366
投資その他の資産合計	1,997,042	1,815,623
固定資産合計	3,890,231	3,874,689
資産合計	17,435,326	20,598,091
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,461,051	12,243,326
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	583,988	679,816
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	122,737	88,049
賞与引当金	173,912	97,845
その他	1,174,317	1,310,358
流動負債合計	11,556,006	14,659,397
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	1,060,856	903,037
退職給付引当金	154,216	163,153
役員退職慰労引当金	175,476	184,326
その他	234,893	221,135
固定負債合計	1,705,441	1,531,651
負債合計	13,261,448	16,191,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,250	302,250
資本剰余金	291,900	291,900
利益剰余金	3,443,521	3,671,780
自己株式	△1,722	△1,722
株主資本合計	4,035,949	4,264,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,805	114,986
為替換算調整勘定	17,122	27,848
その他の包括利益累計額合計	137,928	142,834
純資産合計	4,173,877	4,407,042
負債純資産合計	17,435,326	20,598,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	38,422,565	42,289,566
売上原価	32,115,872	35,140,116
売上総利益	6,306,692	7,149,449
販売費及び一般管理費		
給料	1,260,697	1,341,537
賞与引当金繰入額	83,189	87,094
役員退職慰労引当金繰入額	9,900	8,850
運賃	2,892,492	3,146,772
貸倒引当金繰入額	22,681	18,963
その他	1,835,368	2,145,638
販売費及び一般管理費合計	6,104,329	6,748,855
営業利益	202,362	400,594
営業外収益		
物流業務受託収入	34,504	31,323
協賛金収入	68,785	73,526
その他	99,990	108,721
営業外収益合計	203,280	213,572
営業外費用		
物流業務受託収入原価	47,723	38,605
催事等振替原価	31,378	32,377
その他	32,500	44,196
営業外費用合計	111,603	115,179
経常利益	294,039	498,986
特別利益		
退職給付制度改定益	61,018	—
特別利益合計	61,018	—
特別損失		
固定資産売却損	—	2,702
固定資産除却損	6,500	—
投資有価証券評価損	651	—
特別損失合計	7,151	2,702
税金等調整前四半期純利益	347,907	496,284
法人税、住民税及び事業税	102,133	200,692
法人税等調整額	85,820	20,784
法人税等合計	187,954	221,477
少数株主損益調整前四半期純利益	159,953	274,806
四半期純利益	159,953	274,806

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	159,953	274,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,421	△5,819
為替換算調整勘定	—	10,725
その他の包括利益合計	2,421	4,906
四半期包括利益	162,374	279,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,374	279,712
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	35,907,638	2,505,994	8,932	38,422,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,146	—	105,836	127,982
計	35,929,784	2,505,994	114,768	38,550,548
セグメント利益	537,395	209,436	91,228	838,060

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	838,060
セグメント間取引消去	10,796
全社費用(注)	△646,494
四半期連結損益計算書の営業利益	202,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	39,167,756	3,112,595	9,214	42,289,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,554	—	105,836	130,390
計	39,192,310	3,112,595	115,050	42,419,956
セグメント利益	756,986	259,008	90,623	1,106,618

(注) 「サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更した為、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の各セグメント利益に与える影響は軽微であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,106,618
セグメント間取引消去	9,997
全社費用(注)	△716,021
四半期連結損益計算書の営業利益	400,594

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。